

令和8年度サービス水準評価結果(令和7年度実績)

施設概要

施設名称	板橋区立熱帯環境植物館	所在地	板橋区高島平8丁目29番2号
所管課名	資源環境部環境政策課	指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日(第6期)
指定管理者名	ねったいかんパートナーズ	指定管理者の所在地	代表企業:西武造園株式会社 東京都豊島区南池袋一丁目16番15号
設置目的	区民に熱帯の植物及び生物の鑑賞の機会を提供し、自然環境保護に関する知識の普及啓発を図るとともに、余暇利用の増進に寄与することを目的とする。		
基本理念	(1)自然環境保護と生物多様性に関する知識の普及啓発 (2)DX推進により地球温暖化における緑の大切さを伝え、脱炭素社会を推進 (3)区内施設・関連施設と連携し、地域貢献を促進		
行動規範	(1)関係法令やマニュアル等を遵守すること。 (2)公平・公正なサービスの提供等に努めること。 (3)経費削減に努めるとともに、効果的かつ効率的な管理運営を実現すること。 (4)施設の安全性の確保と来館者等へ安心して過ごせる空間を提供すること。 (5)サービスの向上と利用者数増加の実現に努めること。 (6)区、地域、区内施設、関係団体等との連携を図った事業の推進、地域貢献に努めること。		
業務内容	1 施設の管理運営に関する業務 2 施設・設備の維持管理に関する業務 3 事業に関する業務 自然環境保護に関する知識の普及啓発及び実践の推進を図るとともに、余暇利用の増進に寄与することを目的とし、企画展示、各種講座・講演会、音楽会、苗木植物配付など各種行事イベントを企画し、実施する。 (1)植物や動物等、自然環境をテーマとする事業 (2)環境に配慮した新たなライフスタイルを提案する事業 (3)SDGsの普及・啓発を目的とする事業 (4)地域協働を目的とする事業 (5)パナン植物園など東南アジアとの交流や、熱帯地方をテーマとする事業 (6)地域経済の活性化を図る事業 (7)館の特性(館内の景観等)を活用した事業 (8)大人の来館者が増える企画運営等 (9)DX事業 (10)脱炭素社会推進事業 (11)周年記念等を盛り上げる企画事業 (12)館及び自然環境に関する情報発信を目的とする広報活動		

評価結果

評価項目	事業の目標と具体的な取組	一次評価(指定管理者による自己点検)	
		実施結果やサービス水準の増減理由など	評価点
【施設の経営方針に関する事項】			
1 施設の現状認識・取り巻く環境の理解・管理運営の方向性			

評価項目	事業の目標と具体的な取組	一次評価(指定管理者による自己点検)	
		実施結果やサービス水準の増減理由など	評価点
施設の設置目的や基本理念、行動規範などを踏まえた現状認識並びに経営方針を確立しているか	熱帯環境植物館は、区民に熱帯の植物及び生物の鑑賞の機会と体験の機会を提供し、自然環境保護に関する知識の普及啓発を図るとともに、余暇利用の増進に寄与することを目的とします。重点化すべき基本理念は、(1)自然環境保護と生物多様性に関する知識の普及啓発。(2)DX推進により地球温暖化における緑の大切さを伝え、脱炭素化の推進。(3)区内施設・関連施設と連携し、地域貢献を促進。 経営方針①平等・公平を基本とした法令等を遵守します。②利用者や地域住民が安心・安全に利用できる基盤の提供と、誰もが利用しやすいサービスを提供します。③施設の価値向上に向け、現況や社会ニーズに応じ、常に取り組みを進化・発展させます。④環境面、社会面、経済面の総合的な持続可能性の観点から、事業者としての社会的責任を果たします。⑤本施設を核とした地域活性化や地域価値向上を目指します。	・施設の設置目的、管理運営の理念、基本方針を元に、区民に喜んで頂けるよう利用者目線に立った、親しまれ信頼される施設となるよう管理運営を行った。 ・熱帯植物及び生物の展示については、これまでの経験を活かし、適切な剪定作業やきめ細かな温度管理による良好な展示環境の維持に努めた。あわせて、開花や実を見つけやすいよう、ビルマムツアシガメを用いた表示を設置するなど、分かりやすい展示を心がけた。さらに、企画展「五感で楽しむ植物展」や食虫植物のミニガイドの実施、体感水族館で生物に触れられる機会を設けるなど、楽しさのある展示環境づくりに努めた。	4 / 5

2 経営方針に基づく具体的な行動

	基本理念	具体的な目標	サービス水準	目標値・実績値(経過)					評価点	
				R7	R8	R9	R10	R11		
基本理念の達成に向けて、経営方針に基づく具体的な目標や取組、サービス水準を設定し、業務に取り組んでいるか	(1)	自然環境保護や生物多様性について学習できる場の提供	入館者数	目標	140,000	142,500	145,000	147,500	150,000	5 / 5
				実績	163,493					
	増減理由	ファミリー層、高齢者層が中心であったが、R7年度より10代、20代がSNSの影響で増加。昨年度比105.8%。 R6 154,394名 R5 134,317名								
	(1)	自然環境保護や生物多様性について学習できる場の提供	企画展示(小規模展含む)、講座、イベント回数	目標	50	51	52	53	54	5 / 5
				実績	54					
	増減理由	・当館に関連するゴール(気候変動、海や陸の豊かさ、エネルギー、再利用等)について学ぶことができるよう、企画展示、小規模展示を通じて、ミニガイドやパネル展示を行うなど、様々なテーマで自然環境保護や生物多様性について学ぶ場を提供した。 ・展示以外にも、ガイドや講座の場で、SDGsに関する学びとなるような話を交えながら、参加者に普及啓発を行った。 ・植物や生物をテーマとした講習会を行い、様々な方に学びの機会を提供した。								

評価項目	事業の目標と具体的な取組		一次評価(指定管理者による自己点検)					評価点		
			実施結果やサービス水準の増減理由など							
	(1)	自然環境に関する意識の向上	アンケート(自然環境に関するイベントによって意識の変化があった割合)	目標	76%	79%	82%	85%	88%	3 / 5
				実績	53.3%					
				増減理由	体感水族館の企画展でアンケートを実施。意識の変化が大きく変わった10%、やや変わったが43.3%となった。どちらとも言えないが23.3%と2番目に大きなボリュームゾーンとなっており、その層をやや変わったへ変えていく取り組みが必要。					
	(2)	デジタル技術を活用したコンテンツの充実	入館者数に対するデジタルコンテンツアクセス数の割合	目標	5%	6%	7%	8%	9%	5 / 5
				実績	6%					
				増減理由	アクセス数:板橋デジタル歴史探訪問3,692 ねったい探検隊(12月より実施) 6,095					
	(2)	SNSを活用したSDGs、生物、植物等に関する啓発活動	SNSによる情報発信回数	目標	200	205	210	215	220	5 / 5
				実績	204					
				増減理由	リアルタイムで伝えたい情報をInstagram、Facebookで開花情報やイベント案内、新たに入荷した魚類の紹介を中心に展開した。R8より板橋区公式LINEでの展開も検討する。					
	(3)	地域と連携した運営	連携イベント回数	目標	5	6	7	8	9	5 / 5
				実績	12					
				増減理由	・赤塚植物園で行われる「グリーンフェスタ」、や春と冬の2回、「高島平マルシェ」への協力と出店を行い、地域との連携強化と施設PRを実施した。 ・「板橋農業まつり」での展示では昆虫の展示を行い、来場者の興味を引く工夫を行った。 ・板橋こども動物園では羊毛工作教室を行った。					
	(3)	区民が活躍できる場の提供	ガイドツアー実施回数	目標	52	54	56	58	60	1 / 5
				実績	20					
				増減理由	区民に限定したガイドツアーでは20回の実施に留まった。1日2回の実施を検討し、目標に近づけるよう努める。 なお、区外在住を含めたガイドツアーの合計数は45回であった。					
	(3)	マレーシアについて学び、つながりを感じることができる場の提供	展示・講座・イベント回数	目標	7	7	7	7	10	5 / 5
				実績	9					
				増減理由	熱帯雨林なんでも質問会やマレーシア展、ボルネオ講演会などを実施。ボルネオ講演会ではカードゲーム形式にし親子で楽しみながら生物多様性について学べる場を提供することが出来た。					

*サービス水準の採点方法

(5点:達成率100%以上、4点:達成率90%以上100%未満、3点:達成率70%以上90%未満、2点:達成率50%以上70%未満、1点:達成率50%未満)